

令和5年度 長崎県立上対馬高等学校 学校関係者評価報告

1 実施方法・場所等

学校関係者評価委員会の各委員（学校評議員兼ねる）に、保護者・生徒・教職員による学校評価を資料として提示し、実施日に本校で評価を受けた。内容として、本校における評価が適切に行われているかどうか、教育活動その他の学校運営の改善に向けた取組が適切かどうかなどについて検証していただいた。

2 実施日時 令和6年2月16日（金） 14:30~15:30

3 学校関係者評価委員 学校評議員の3名。

宮原 公明 氏（同窓会会長）、八坂 健一 氏（中学校長）、武末 聖子（会社役員）

4 学校関係者評価の内容

（1）生徒による評価

全体的に、一昨年と同様の評価に上がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が23項目中1項目。

⑧「ボランティア活動」

（2）保護者による評価

全体的に、一昨年と同様の評価に上がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が23項目中2項目。

③「ホームページや上高通信等」 ⑯「朝の読書」

（3）教職員による評価

全体的に、一昨年と同様の評価に上がっている。

4または3の評価が90%を下回る項目が18項目中4項目。

イ「学年や分掌との連携」

ケ「特別な支援を要する生徒等の理解と組織的対応」

ス「教職員の指導力向上」

タ「校務処理の効率化を促進」

（4）学校関係者評価委員からの指導・助言

○真剣に良い学校に行きたい生徒にとって、上対馬高校は良い学校であり、そのことは十分売りになると思う。

○水産学科の新設など、10年ぐらいかけて新たな学校の特徴を持たせてもらいたい。

○上高生は、裏表がなく、素直にのびのび成長している。

○以前から個人指導が丁寧に行われ、国公立大学進学への対応ができており、現在もそれを維持していると思う。

○部活動の活躍や高い進路実績を上げていることを前面に押し出して、遠方から生徒を呼べる
と良い。

○寮の整備をお願いしたい。